

令和6年度
今治市中学生議会 会議録



令和6年8月5日

8月5日

出席議員	1
出席した者の職・氏名	2
議事日程	3

開会（午前9時40分）

藤原秀博議長の挨拶	4
徳永繁樹市長の招集挨拶	4

開議

日程1 議席の指定	5
日程2 会議録署名議員の指名	5
日程3 会期の決定	5
日程4 一般質問	
議長 西村心美議員 質問 井上莉沙議員、越智栞那議員	5
徳永繁樹市長の答弁	6
議長 阿部透子議員 質問 黒原葉月議員、藤川真帆議員	8
徳永繁樹市長の答弁	9
議長 佐伯ひより議員 質問 大谷伊吹議員、白石 瑠議員	10
徳永繁樹市長の答弁	11
議長 青野晴菜議員 質問 川森雄月議員、村上慧音議員	12
徳永繁樹市長の答弁	13
小澤和樹教育長の答弁	15
議長 清重虎三郎議員 質問 中林 悠議員、村上龍平議員	15
徳永繁樹市長の答弁	16
議長 岡野莉海議員 質問 水谷彩愛議員、高井 碧議員	18
徳永繁樹市長の答弁	19
議長 藤田悠希議員 質問 白鞘怜奈議員、藤橋泰旬議員	21
徳永繁樹市長の答弁	21
議長 渡邊葵月議員 質問 藤倉亘輝議員、長本和真議員	23
徳永繁樹市長の答弁	24
徳永繁樹市長の講評	25

閉会（午前11時38分）

今治市中学生議会 会議録

出席議員

1 番	大三島中学校	いのうえ 井上	りさ 莉沙	2 番	大三島中学校	おかの 岡野	りな 莉海
3 番	朝倉中学校	おおたに 大谷	いぶき 伊吹	4 番	朝倉中学校	しらいし 白石	るな 瑠
5 番	大三島中学校	おち 越智	かな 栞那	6 番	朝倉中学校	わたなべ 渡邊	あず 葵月
7 番	伯方中学校	あべ 阿部	とうこ 透子	8 番	今治東中等教育学校	あおの 青野	はるな 晴菜
9 番	大西中学校	くらはら 黒原	はづき 葉月	10 番	伯方中学校	なかばやし 中林	ゆう 悠
11 番	伯方中学校	むらかみ 村上	りゅうへい 龍平	12 番	今治東中等教育学校	しらすや 白鞘	れいな 怜奈
13 番	今治東中等教育学校	ふじはし 藤橋	たいしゆん 泰旬	14 番	大西中学校	ふじかわ 藤川	まほ 真帆
15 番	大西中学校	ふじた 藤田	ゆうき 悠希	16 番	南中学校	にしむら 西村	ここみ 心美
17 番	南中学校	かわもり 川森	ゆづき 雄月	18 番	南中学校	むらかみ 村上	えの 慧音
19 番	北郷中学校	さいき 佐伯	ひより ひより	20 番	日吉中学校	きよしげ 清重	とらさぶろう 虎三郎
21 番	北郷中学校	みずたに 水谷	あやめ 彩愛	22 番	北郷中学校	たかい 高井	あお 碧
23 番	日吉中学校	とうくら 藤倉	こうき 亘輝	24 番	日吉中学校	ながもと 長本	かずま 和真

出席した者の職・氏名

市長	徳永 繁樹	副市長	土居 忠博
監査委員	木原 盛展	教育長	小澤 和樹
総務部長	片上 光和	総合政策部長	森 聖二
地域振興部長	富田 義勝	健康福祉部長 (兼) 福祉事務所長	結田 信吾
こども未来部長	正岡 靖彦	市民環境部長	八木 輪吾
産業部長	若宮 浩	建設部長	八木 明人
上下水道部長	永田 秀樹	消防長	山本 秀明
副教育長	鳥生 敬二	総務政策局長	村上 稔
総務部次長 (兼) 財政課長	長野 幸治		

今治市議会

議長	藤原 秀博	副議長	達川雄一郎
----	-------	-----	-------

市議会事務局

局長	越智 直紀	議会総務課長	岡田 伸
議会総務課長補佐	平田 親吾	議会総務課長補佐	越智 涼子

議 事 日 程

(令和6年8月5日)

日程番号	議 事 内 容
1	議席の指定
2	会議録署名議員の指名
3	会期の決定
4	一般質問

○藤原秀博議長

皆さん、おはようございます。

今治市議会議長の藤原秀博です。今治市中学生議会の開催にあたり、一言御挨拶を申し上げます。今日は、今治市内の中学校を代表して8校から3人ずつ、合わせて24名の中学生にお集まりをいただき、今治市中学生議会を開かせていただきました。ようこそいらっしゃいました。心から歓迎を申し上げます。

皆さんのような、若い世代が政治に関心をいただき、そして、今治市議会を身近に感じてもらいたいという思いから、中学生議会を開催して、今年で6回目となりました。皆さんは、今日の質問のために、今治市のことをたくさん調べ、将来の今治市がどうなってほしいのか、たくさん考えられたものと思います。私も、今日は特別に、理事者席に座らせていただいて、皆さんの質問を聞かせていただき、応援しておりますので、がんばってください。

最後になりましたが、各学校の先生方、そして保護者の皆様、本日は、御支援・御協力を賜りまして、心から感謝を申し上げます。

それではこれから、私が、中学生議会の議長を指名して、中学生議会を進めたいと思います。

議長は、南中学校の西村議員にお願いいたします。よろしく申し上げます。



○西村心美中学生議会議長

私は、初めに議長を務めます、南中学校の西村心美です。よろしく申し上げます。本日の出席議員は24名です。ただ今から、今治市中学生議会を開会いたします。市長から中学生議会招集の挨拶があります。



○徳永繁樹市長

中学生議会の議員の皆さん、おはようございます。今治市長の徳永繁樹です。議会の開会にあたりまして、御挨拶を申し上げます。

夏休みに入って、勉強に部活動に、そして交流にと、様々な活動をしていただいている最中と伺っておりますけれども、市内8校を代表する議員の皆さんには、本日の中学生議会にお集まりをいただき、歓迎を申し上げます。また、保護者の皆様、先生方をはじめ、教育委員会の皆様におかれましては、本議会の開催に御協力をいただき、誠にありがとうございました。議員の皆さん、始めに、地方自治の仕組みについてお話をさせていただきます。

現在、日本におきましては、「三権分立」という政治システムが採られているのは、御存じだと思います。「三権」とは、国会が持つ立法権、内閣が持つ行政権、裁判所が持つ司法権 この3つの権力のことを言いまして、この3つの権力がお互いに抑制し、均衡を保つことによって、国民の権利と自由を保障しようという考えでございます。一方で、愛媛県や今治市などの地方自治体におきましては、「二元代表制」

という制度が採られています。市長や市議会議員を、住民が直接選挙で選ぶという制度でございます。ともに市民の代表である市長と市議会議員とが、お互いに対等の立場に立ち、市民の暮らしをよりよくしていくための施策やルールなどの重要な事項について、まさにこの場で議論を重ね、深めながら、市の発展に向けて取り組んでいます。今日は、その市議会の場におきまして、近く今治の将来を担っていただく皆さんに、今の皆さんだからこそ見つけられるこのまちの課題や、皆さんにしか気づくことのできない、未来の今治に向けた提案など、ふるさとがより一層発展していくための輝くヒントをいただけることを楽しみにしております。そして、ぜひともこれからのまちづくりにつなげていただきますよう、私たちもしっかりと受け止めて、真剣にお答えをさせていただきますので、議員の皆さんにおかれましては、自信を持って御発言をいただきたいと願っています。

さて、昨日、一昨日の「おんまく」は皆さん、楽しんでいただきましたでしょうか。大変暑い中でありました。今治市民の一体感の象徴として、28年にもわたり、市民の皆さんに愛され、育まれています。スタッフ、ボランティアの方々を始め、まさに今治を思う多くの皆さんが携わり、お支えをいただくことによって、次の年、またその次の年へとつながっていきます。本日の中学生議会が今治の未来へとつながっていくことを願って、中学生議員の皆さん、そして市政を預かる私どもにとって、実り多きものとなりますことを心から期待申し上げ、開会にあたっての御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いを申し上げます。



○西村心美中学生議会議長

徳永市長、ありがとうございました。これより本日の会議を開きます。本日の議事日程は、お手元に配付の日程表のとおりです。また、報道機関などから申出があり、撮影を許可しておりますので、御了承ください。

日程1、議席の指定を行います。議長において、皆さんが着席しているとおり、議席を指定します。

日程2、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、12番白鞘怜奈議員、21番水谷彩愛議員、以上、二名の方を指名します。

日程3、会期の決定を議題とします。お諮りします。今治市中学生議会の会期は、本日1日限りとしたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と言う)

御異議なしと認めます。会期は、本日1日限りと決定しました。

日程4、一般質問を行います。質問の順番は、各議席に配付しております一般質問順のとおりです。通告者の発言を順次許可します。

1番大三島中学校井上莉沙議員。5番越智栞那議員。

○井上莉沙議員

大三島中学校3年井上莉沙です。

○越智栞那議員

同じく3年越智栞那です。

○井上莉沙議員

私たちは、県内外からの移住者が最も多い大三島に住んでいます。通りには外国人観光客も多く、時折その方たちに話しかけられます。そこで、私たち大三島の中学生は「挨拶と意思表示日本一」という目標を掲げ、対話型の授業に取り組んでいます。議論を深めたり、自分の意見や相手の意見をよりよく表現したりすることに重点を置き、努力を重ねています。私たちは、「しまなみ海道の交通費負担軽減について」2点質問します。1点目として「交通費の負担軽減の可能性について」です。昨年のおふるさとキャリア教育の授業でアンケートをとった結果、私たちの家庭では、通勤、習い事、買物等のために年間、およそ50万円以上の交通費を払っています。そのため、通院や買い物など生活に必要な行動を我慢しているという可能性があるという結論になりました。島民の日常生活を守り、産業の活性化や移住者の増加など将来の可能性を広げるためにも、しまなみ海道の交通費負担軽減を行う可能性について教えていただきたいと思えます。

○越智栞那議員

2点目は「子育て世代への支援について」です。島内にある習い事や塾の種類や事業所数などに限りがあるため、島外に通う家庭もあり、子育て世帯の出費が多くなっています。そのために、習い事や通塾をあきらめることもあります。島内の子どもたちの可能性を広げるために、子育て世帯への補助金や社会教育と連携しての出前講座の実施の可能性はないでしょうか。

以上2点について御回答よろしくお願ひいたします。

○西村心美中学生議会議長

答弁を求めます。

○徳永繁樹市長

大三島中学校の皆さん、皆さんがお住まいの大三島には、大山祇神社を始め、多くの文化遺産があり、外国人観光客にも人気のエリアで、他の地域と比べ、外国の方と接する機会も多くなっていると思えます。そんな中、皆さんが取り組んでいる「挨拶と意思表示日本一」は現在のグローバル社会において、自分の考えをうまく相手に伝え、相手の意見をよく聞き、議論を深めるという重要なコミュニケーション能力の一つを育むことにつながります。今後も対話型の授業を通じ、国際社会で活躍できる能力を身に付けることを大いに期待をしています。

それでは、井上莉沙議員、越智栞那議員御質問の「しまなみ海道の交通費の負担軽減について」お答えをさせていただきます。大変難しい、そして深い御質問だなどと思っております。まず、「交通費の負担軽減の可能性について」でございます。今から25年前、しまなみ海道は全線開通をしたことは御存じと思えます。しまなみ海道が開通する1999年5月までは、しまなみ圏域、島嶼部の方々が今治市に行くためには、フェリーや旅客船を利用せざるを得ませんでした。時間的な制限もあり、ましてや、夜間の事故で



あったり、病気などの救急対応には、かなり御不便があったと存じております。現在では、しまなみ海道を使って、時間的な制限もなく、いつでも今治の陸地部に行くことができ、生活の利便性が飛躍的に向上しましたが、同時に、同じ今治市内を移動するための唯一の生活道路が「有料道路」という特殊な地域となり、お住まいの皆さんにしっかりと寄り添い、できる限りその負担を軽減していくことは、先ほど申し上げましたように、とても重要な課題です。スライドを御覧ください。島嶼部の皆さんの通行料の全てを今治市が負担するとなると、試算では年間10億円以上かかることになり、現実的には非常に難しいと考えております。これまで、出産・育児で病院に行く際の交通費など、どうしてもしまなみ海道を使用しないといけない場合に、通行料の一部を支援するなどの負担軽減策を実施してまいりました。また、今治市が国に対して愛媛県と一緒に要望を続けた結果、軽減されている現在の通行料を維持していくために、通行料の負担軽減を図る取組ばかりだけではなく、国内外多くの観光客を引きつけ、世界に誇れるしまなみ海道エリアのポテンシャルを生かした地域の振興、活性化による、しまなみ海道の利用促進という、これまでとは違った考え方で取組を進めることも必要です。そこで今年4月、新しく今治市の庁内におきまして、「しまなみ海道通行料実質無料化推進会議」を設置し、市が一丸となって通行料負担軽減と利用促進の両面で具体的な方策を検討する体制を整えてございます。現在この会議で、様々な角度から施策の検討を進めているところでございまして、今後、具体的な施策がまとも次第、市民の皆さん、中学生議会の皆さんにも分かりやすい形でお示しをさせていただこうと思っております。

次に、「子育て世代への支援について」でございます。お子様が学校や塾、習い事で島外に通う際のしまなみ海道の通行料金、特に通学のための通行料金が負担になっているという声は私にもしっかりと届いています。通学しやすい環境を整える上でも、そういった負担に対する支援を、現在、具体的に検討をしているところでございます。一方で、島内での学習環境を整えることで、島外に通わなくても学習効果が上がることが期待でき、結果的に通行料の負担軽減にもつながるといった考えもあります。例えば、本市の中学生の皆さんは、県内で唯一、スタディサプリが利用できます。一人一人の習熟度に合わせた学習ができますので、積極的に御活用いただくことで、負担軽減につながることを期待しています。また、しまなみ圏域島嶼部のお友達に向けましては、スポーツの専門家によるスポーツアカデミーを開催しているほか、社会教育と連携した出前講座の実施につきましても、公民館などでダンスや軽音楽などの講座を開くなどの検討を進めているところでございまして、しまなみ圏域島嶼部で完結できるこうした取組も負担軽減につながるものと考えています。今後も、しまなみ海道エリアにお住まいの皆さんの御意見をしっかりと伺いしながら、島内で日常生活が完結できる環境の整備や、通行料への支援といった負担軽減と、地域の活性化によるしまなみ海道の利用促進の双方に全力で取組み、持続可能なまちづくりの実現を目指してまいろうと思っております。以上でございます。

○西村心美中学生議会議長

大三島中学校井上莉沙議員。越智栞那議員。

○越智栞那議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○西村心美中学生議会議長

以上で、大三島中学校井上莉沙議員と、越智栞那議員の一般質問を終わります。次の議長に、伯方中学校の阿部透子議員を指名します。

○阿部透子中学生議会議長

議長を務めます伯方中学校の阿部透子です。よろしく申し上げます。質問を続けます。9番大西中学校黒原葉月議員。14番藤川真帆議員。



○黒原葉月議員

大西中学校3年黒原葉月です。

○藤川真帆議員

同じく3年藤川真帆です。

○黒原葉月議員

私たちの学校では、OVS（大西ボランティアサービス）というボランティア活動を通して、地域への恩返しをしています。

○藤川真帆議員

全校生徒で、美しい地域の環境を守るため、清掃活動をしています。地域に貢献することで、喜びを感じています。さて「新都市エリアの賑わいの創出について」2点質問します。1点目は、「新都市エリアの集客対策」です。新都市エリアでは、家族や友人などと買物ができたり、アシさとスタジアムでは、FC今治のサッカー観戦ができたりと様々なことを楽しむことができます。しかし、あまりサッカーに興味のない人はアシさとスタジアムに足を運びづらく、中には一度も行ったことがないという人もいるかもしれません。現在、キッチンカーを呼ぶなどの集客対策を行っていますが、今後の新たな対策について教えていただきたいと思います。

○黒原葉月議員

2点目です。「イオンモール今治新都市について」です。私も買物で行きますが、空き店舗になっているところが多くなっていると感じます。それらの空き店舗を利用した取組、空き店舗を増やさないような対策について教えていただきたいと思います。以上2点の質問について、御回答をよろしく申し上げます。



○阿部透子中学生議会議長

答弁を求めます。

○徳永繁樹市長

大西中学校は、1学期には全校でハッピースタディという基礎学力テストに取り組んだり、先ほど御紹介をいただきました、OVSというボランティア活動に取り組んだり、大西中学校独自の活動を展開し、どの生徒も充実した学生生活を送っているように伺っております。夏休みに入っても部活動で、園芸ボランティア部が毎朝植物の世話をさせていただいたり、陸上競技部が四国総体出場を決めるなど、輝かしい成績を収めているようです。この夏にしかできないような、様々な体験をしていただきますように、私の立場からお願いをいたします。

さて、黒原葉月議員、藤川真帆議員御質問の「新都市エリアのにぎわいの創出について」のうち、「新都市エリアの集客対策」と「イオンモール今治新都市について」、合わせてお答えをさせていただきます。今治新都市は、平成11年のしまなみ海道開通による効果の受皿として、広域交流や地域連携の拠点づくりを目指して計画をされました。新都市でのにぎわいを生み出す広域交流拠点として、「アシックス里山スタジアム」や「市営スポーツパーク」、「イオンモール今治新都市」が整備され、それぞれの施設において集客対策に向け、取り組んでいるのは御案内のとおりだと思います。通称「アシさと」におきましては、FC今治のホーム戦に、キッチンカーのおもてなしや、「バリまつり」などのイベント、「移動水族館」などで観客の皆さんをお迎えしています。試合日以外にも、「アシさとで焚火！」などのイベントが催され、サッカーファン以外の方も楽しめる場所となっています。また、「スポーツパーク」におきましては、雨天時にも利用可能な屋内コート4面を含む全16面のテニスコートがあり、昨年度は全国中学校ソフトテニス大会が開催されました。そのほかにも、様々な大会がほぼ毎週開催されております。また、6月にはモルックという競技の、全国大会ジャパンオープンの誘致をさせていただき、国内外から251チーム、1,000名を超える方々がこの今治に集っていただき、大いに楽しんでいただきました。11月には姉妹都市、群馬県の太田市さんが、名物となりつつありますけれども、綱引き大会をこちらのほうでやったらどうかということで、私どもに企画の持ち入れがありました。ぜひ、大西中学校の皆さんにも御参加をいただきたいと願っています。また、12月におきましては、これまで「今治シティマラソン」と言いまして、今治城付近で開催をしておりましたけれども、この場所も「アシさと」のほうをスタートへと思っております。名称も「今治里山マラソン」と改めさせていただこうというふうに思います。私は走ることはそんなに得意ではありませんけれども、ぜひ、中学生の皆さんは、御参加をください。そして、平成28年のオープンから9年目を迎えました「イオンモール」であります。おじいちゃんやおばあちゃん、そして私の世代の皆さん方が、eスポーツをとおして、脳内活性化をしようという取組を今、しておりますけれども、実はこちらのほうにおいて、ねんりんピックの県代表チームの選考会も開催をさせていただいて、大いに盛り上がりました。一方で、今治市が今、最も力を入れている子育て支援対策におきまして、今年の3月に、今治市とイオンモール株式会社とで「子育て支援に関する連携協定」を結び、にぎわい創出と子育て環境の充実と一緒に取り組んでいます。同日には、もう来ていただいたかもしれませぬけれども、魅力的な大型遊具を導入した「しまなみオープンパーク」がリニューアルオープンしてございます。また、御懸念の空き店舗の有効対策であります。今年6月に、子育て世代の悩み相談や子育て情報を発信するため、地元の認定こども園や幼稚園の方々と一緒に運営する「子育てひろばハピ」を開設

しております。ぜひ、こちらのほうにもお越しをください。さらには、子育て支援の新たな取組として、「木育」というものに取り組んでまいります。昨年12月と今年6月に木のおもちゃを楽しんでいただける「木育キャラバン」を開催し、連日多くの親子連れに訪れていただきました。そこには、はじけるような笑顔がたくさんありました。そうしたものを、私自身が視察をさせていただいて、令和8年には、愛媛県内では初となる仮称ではありますが、「しまなみ木のおもちゃ美術館」がオープンする予定であり、子育て世代をメインターゲットにした施設のオープンを起爆剤に、地域の交流拠点として継続的な集客を期待しています。新都市エリア一体の365日のにぎわい創出に向け、駐車場からスタジアムへの移動階段や、夜間照明、にぎやかなフラッグポールの整備など、引き続き、受入体制を充実させていくこととしています。皆さんも御家族やお友達を誘い、様々な方々との交流を深め、思う存分に新都市エリアを楽しんでいただきたいと思っています。以上でございます。

○阿部透子中学生議会議長

大西中学校黒原葉月議員。藤川真帆議員。

○藤川真帆議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○阿部透子中学生議会議長

以上で、大西中学校黒原葉月議員と、藤川真帆議員の一般質問を終わります。次の議長に、北郷中学校の佐伯ひより議員を指名します。

○佐伯ひより中学生議会議長

議長を務めます北郷中学校の佐伯ひよりです。よろしくお願ひします。質問を続けます。3番朝倉中学校大谷伊吹議員。4番白石瑠議員。

○大谷伊吹議員

朝倉中学校3年大谷伊吹です。

○白石瑠議員

同じく白石瑠です。私たちの学校が頑張っていることは、挨拶と歌声を響かせることです。特に歌声に関しては、毎年文化祭の全校合唱で



「大地讃頌」を歌い、学校としての一体感を高めています。この曲を30年ほど歌い続けています。地域に愛される曲でもあり、この伝統を大切にしていきたいと思います。それでは質問に移らせていただきます。私たちは「今治市の子育て支援について」2点質問します。1点目は、今治市が2年連続『住みたい田舎ベストランキング』で全4部門1位になったことについてです。学校でも総合的な学習の時間にふるさとについて学び、とてもすばらしいことだと思いました。特に、子育て支援という側面において、今治市が子育て世代からも支持されていることが分かりました。「今治市の子育て支援の特徴について」

具体的に教えてください。

○大谷伊吹議員

2点目は「子育て支援の手当てについて」です。子育て支援において、施設や地域とのつながりなどが大切であるのと同時に、経済的支援も大切にされていると思います。今治市も令和6年10月から児童手当制度の改正が行われると聞いています。そこで質問ですが、この制度改正の後、給食費無償化や部活動の代わりになるような地域クラブへの補助金制度など、具体的な取組を検討しているのか教えてください。

以上2点について御回答よろしく申し上げます。



○佐伯ひより中学生議会議長

答弁を求めます。

○徳永繁樹市長

朝倉中学校では、文化祭において、全校で「大地讃頌」を合唱しているという披露をいただきました。

このように一つのことをみんなで成し遂げるといった経験は、皆さんの絆を深め、よりよい学校生活を送ることにつながると確信をしております。また、朝倉中学校におきましては、運動会で3年生が浴衣を着て演技をされることも聞きました。1学期には、地域の方に浴衣の着付けを教えていただく機会を設けるなど、地域との結びつきが非常に強いと伺っています。今後も地域との結びつきを大切に、朝倉中学校の伝統を築き上げていってください。そして私の立場からお願いなんですけれども、皆さんのお友達には、今治をふるさとにしていないお友達、いわゆるJFAアカデミー、これからの日本サッカーを目指していこうというお友達もたくさんいらっしゃると思います。ぜひ、地域になじむように、皆さんが様々な声掛けをしていただきますように、お願い申し上げます。さて、大谷伊吹議員、白石瑠議員の御質問にお答えをさせていただきます。

まず、「今治市の子育て支援の特徴について」でございます。私は市長就任以来、子育て支援を重要施策に位置づけ、「子育てするなら今治市がいいよね」と言っていただけるような、先進的なまちづくりを目指してまいりました。その結果、宝島社の「住みたい田舎ベストランキング」での栄誉のほか、この7月には、県内の自治体で初めて「日本子育て支援大賞」を受賞することができませんでした。いずれも高い御評価をいただいたのが、本市の子育て支援の特色のひとつである「今治版ネウボラ」を推進していることです。この「ネウボラ」とは何か。フィンランドの言葉で、「相談の場・アドバイスの場」といった意味を持ちます。今治版ネウボラは、妊娠期から18歳までのお子さんのいる全ての家庭を切れ目なく支援し、悩みや不安に寄り添う伴走型の相談支援を行うとともに、子育て世代への経済的な支援を行っているのが特徴です。少し先のお話になるかもしれませんが、イメージして聞いてください。具体的には、安心して出産できるよう保健師との個別相談や、出産後の全ての家庭への訪問、3歳児健診と同時にパパママといった保護者の健康診断なども行うなど、特色ある事業を展開しています。また、市内中心部では、「こどもが輝くやさしいまち」を実現していくため、中学生の皆さんも気兼ねなく集うことが可能

となる「今治版ネウボラ拠点施設」の整備計画を進めており、令和12年度オープンを目指して現在検討を進めております。そのほかにも、どの地域に住んでいたとしても、安心して楽しく子育てができるように、身近な場所で相談ができる子育て広場を増やしてみたり、各所の公園におきましては、幼児が安心して遊べる専用エリア「すくすくガーデン」を整備するなど、リニューアルを進めています。さらに、この12月には、皆さんへのクリスマスプレゼントになるかもしれませんが、バリクリーンの隣に大型の遊具を備えた新たな公園が誕生いたしますので、ぜひ楽しみに待っててください。

次に、「子育て支援の手当てについて」でございます。これまで、18歳までの医療費の無償化や、育児用品購入券のプレゼント、中学校入学時の自転車やヘルメット購入の補助など、多様な事業を実施してまいりました。お尋ねにあった学校給食につきましては、仮に今治市が学校給食費を無償化した場合、必要となる財源は、毎年約6億円と伺っております。そもそも論、これは私自身の考えでもありますが、医療費であったり、子育てであったり、教育費であったりというのは、日本中どこに生を受けたとしても、国がしっかりと制度設計をしていくものだと思っております。愛媛県知事、あるいは愛媛県内の市長会を通して、国に向け、現在要望を重ねているところでございます。

一方、部活動の地域移行にあたりましては、皆さんの望ましい成長を保障できるよう、段階的な移行について検討をしております。今年度は、日吉中学校と西中学校の水泳部を地域クラブ活動として、活動に必要な経費を補助しながらモデル的に取り組んでいます。大切なのは、私は人間形成ではないのかなというふうに思います。勝利至上主義に陥って、勝つために何でもすればいいという指導では、今治市としてはよくないのではないかと考えております。学校の部活動は生徒の皆さんにとって、まさに、人間形成の機会や多様な活動ができる場でございます。他の種目においても、生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保できるよう、他の自治体の先進的な取組も参考にしながら、本市の実情に応じた地域移行を進めてまいります。今治で学び育つ中学生の皆さんが、ふるさと今治に誇りと愛着を持ち、「ずっと暮らしていきたい」「将来今治市に戻って働きたい」と実感してもらうためにも、ふるさとキャリア教育の充実とさらにパワーアップした子育て支援策を展開し「令和の時代の新しい今治」を皆さんとともにつくっていきたいと思っております。答弁は以上でございます。

○佐伯ひより中学生議会議員

朝倉中学校大谷伊吹議員。白石瑠議員。

○大谷伊吹議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○佐伯ひより中学生議会議員

以上で、朝倉中学校大谷伊吹議員と、白石瑠議員の一般質問を終わります。次の議長に、今治東中等教育学校の青野晴菜議員を指名します。

○青野晴菜中学生議会議員

次に議長を務めます今治東中等教育学校の青野晴菜です。よろしく申し上げます。質問を続けます。17番南中学校川森雄月議員。18番村上慧音議員。

○川森雄月議員

南中学校3年川森雄月です。

○村上慧音議員

同じく3年村上慧音です。

私たちの学校は、コロナ禍以降、黙食が続いている給食の時間を、少しでも明るく楽しいものにしようと、3年前から「南中ラジオ」という生徒会企画を行っています。お便りを募集して、それについてトークを広げるラジオ番組形式の校内放送を展開することによって、給食の



時間が少しでも楽しみになっている生徒もたくさんいます。私たちは、「学校給食における、食品の安全確保や、地産地消を推進するための取組について」、2点質問します。まず1点目です。給食は私たちにとって大切な食事であり、安全であることが最も重要だと考えています。最近は気温も上がっており、食中毒のリスクも高まっています。そこで、学校給食において、食品の安全を確保するために今治市が行っている具体的な取組について教えてください。

○川森雄月議員

2点目の質問は「地産地消を推進するための取組について」です。地元で生産された新鮮な食材を使うことで、私たちは地元の農業や漁業を応援することができます。また、バーチャルウォーターの観点からも、食料自給率の低い日本では、全国で地産地消を推し進めるべきだと考えています。そこで、今治市では、学校給食において地元産の食材をどのように取り入れているのか、具体的な事例や今後の計画について教えてください。以上で私たちの質問を終わります。



○青野晴菜中学生議会議長

答弁を求めます。

○徳永繁樹市長

市民の皆さんから市長に対して、様々な声を届けるシステムとして、「市長メール」というものがあります。これまで3年間、長引くコロナ禍にあって、せつかくの給食を食べるときに黙食でなくてはならない。楽しくない。何とか教育委員会、今治市としても考えてもらえないかというお尋ねをずいぶんといただいております。皆さんの取組を伺って、たくましい取組をいただいているなと思います。コロナ禍によって、私たちも、そして皆さんの暮らし、学びも随分と変容してきた、そのように受け止めています。皆さんの学校生活においても、様々な制限があったと思います。そのような中で、御紹介にありました、楽しい給食の時間を過ごしていただくことができますよということ、生徒会の皆さんが中心

となって、給食の時間に「南中ラジオ」という企画を考え、実施しているというすばらしい取組は、ぜひ、今治市の他の学校においても、横展開ができないかなと思っています。これからも様々な困難があろうと思いますけれども、困難にうつむくのではなくて、絶えず前を向いてチャレンジをしてもらいたいというふうに思っています。また、先日行われました吹奏楽コンクール愛媛県大会におきましては、金賞を受賞なさったということも聞いております。ぜひ、四国大会においても、これまでの練習の成果を遺憾なく発揮をしていただきますように、ぜひ、くれぐれもよろしくお伝えをください。さて、川森雄月議員、村上慧音議員の御質問についてお答えをさせていただきます。私からは、学校給食の取組についてでございます。

今治市は、「日本一おいしい給食事業」に令和3年度より取り組んでおります。この事業は、皆さんに将来にまで誇れる学校給食を提供し、日本一おいしい学校給食文化を今治の地に根づかせていくとともに、大人になったときに、「今治の給食っておいしかったよね」「焼豚玉子飯は、半熟ではなかったけれども、ぜひ、この半熟の玉子も食べてみよう」というふうに思い出していただいて、ふるさとへの愛着や誇りにつなげていただくこと、そして、食育の面からも、地域で生産された食材について理解を深めてもらうことが目的です。令和3年度、4年度は今治で活躍をしていただいている料理の鉄人が監修したメニューを、5年度は地元産食材を使ったメニューを募集し、コンテストで受賞したメニューを学校給食として提供させていただいております。今年度は、合併20周年記念のキービジュアル、ロゴマークのコンセプト「むすぶ」をテーマにした「おむすび」に合う12の地域の食材を活用し、それぞれの調理場の栄養士がアレンジしたものを給食に提供する予定でありますので、ぜひ、楽しみにしておいてください。

さて、お尋ねにございました「地産地消を推進するための取組について」であります。地元産の食材を使うことで地元の農業や漁業を応援することができるという想いを皆さんが持たれていることを、大変うれしく思います。地産地消は、新鮮なものを新鮮なうちにおいしく食べられるということ以外に、輸送距離を短縮することで、温室効果ガスの排出が削減されるなど、環境にやさしいという効果に加え、地域内で経済循環が起こるといった効果があります。今治市は全国に先駆け、食と農のまちづくり条例を制定し、これまで取り組んできた学校給食をはじめとする地産地消は、まさに市民の皆さんに今治の食を食べてもらい、地域の農林水産業を支えていただきたい、地域の農林水産業者に元気になっていただきたいという思いで推進をしてまいりました。その結果、今では全国から多くの方々が、今治市に視察に訪れていただいているところでございます。学校給食における具体的な取組といたしましては、お米は農薬・科学肥料を50%以上削減した今治産特別栽培米を100%使用し、パンの原料となる小麦も100%今治産を使用するなど、生産農家の皆様をはじめ、地元のJAの皆様をいただきながら、積極的に推進しております。さらに、農産物ばかりではなく、今治産の天然マダイ等を使ったメニューや、今治で獲れたイノシシを使ったジビエメニューも取り入れています。野菜などの食材の調達については、今治産の旬の食材を最優先し、今治産野菜の使用率は50%以上となっております。今後も可能な限り地元食材の使用率を高め、地産地消を推進することで、地域の農林水産業を支える方々にもっともっと元気になってもらいたいと考えています。中学生の皆さんが、地元の農業や漁業を応援するという意識を広く共有することで、今治市の農林水産業の未来も明るくなります。ぜひともその想いを忘れることなく持ち続けていただくことを期待するものでございます。

その他の御質問につきましては、関係理事者から答弁させることといたします。

○小澤和樹教育長

川森雄月議員、村上慧音議員御質問の「学校給食における食品の安全確保の取組について」私からお答えさせていただきます。今治市では、地元産の旬の食材を手づくりにこだわり、おいしい給食を皆さんに温かいままお届けできるよう、調理場の集約ではなく、21の調理場で調理しています。南中学校の皆さんに給食を提供している「夢づくり調理場」を含め、全ての調理場において、職員が衛生管理意識を共有し、安全の確保を図っております。調理場施設においては、細菌の繁殖を防止するため、床が乾いた状態で作業できる造りとし、食材を下処理する場所と調理の場所を区切るなど衛生管理を徹底しております。さらに、調理配膳に携わる職員全員が食中毒を引き起こす細菌に感染していないか、毎月2回の保菌検査を行って予防に努めております。今後も、栄養士や調理員が連携、協力しながら、衛生管理の順守に努め、引き続き、安全で安心かつ皆さんに喜んでいただける「日本一おいしい給食」を提供していきたいと考えております。

○青野晴菜中学生議会議長

南中学校川森雄月議員。村上慧音議員。

○川森雄月議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。



○青野晴菜中学生議会議長

以上で、南中学校川森雄月議員と、村上慧音議員の一般質問を終わります。次の議長に、日吉中学校の清重虎三郎議員を指名します。



○清重虎三郎中学生議会議長

次に議長を務めます日吉中学校の清重虎三郎です。よろしくお願いいたします。質問を続けます。10番伯方中学校中林悠議員。11番村上龍平議員。

○中林悠議員

伯方中学校3年中林悠です。

○村上龍平議員

同じく3年村上龍平です。

私たちの学校は、毎年、伯方島で開催される今治伯方島トライアスロンに、希望した生徒がボランティアスタッフとして参加します。選手の方々をサポートをしながら、改めて伯方島はいいところだと認識しています。今年度も9月に行われる予定なので、伯方島の魅力を多くの人に伝えていきたいです。

私たちは、「島嶼部における人口減少と高齢化への対策について」2点質問します。

○中林悠議員

まず1点目です。島嶼部では、高齢化が進み、車などの自力で移動する手段がない高齢者の方々も増えていくと思われまいます。生活していく上で、移動手段は欠かすことのできないものです。そのような方々に対して市はどのような移動手段を提供していく予定か、教えていただきたいと思います。



2点目は、「島嶼部での人口減少について」です。

しまなみ海道の島々を多くの観光客が訪れ、島の魅力を満喫されています。しかし、多くの島々で人口減少と高齢化が進んでいます。それらの課題を解決するためには、若者の移住などが人口減少を解消していく鍵となると思われまいます。若者の移住者を増やすため、移住者を支援する方策は、どのようなものがあるか教えていただきたいと思います。以上2点について、御回答よろしくお願ひいたします。

○清重虎三郎中学生議会議長

答弁を求めます。

○徳永繁樹市長

伯方中学の皆さん、もう1ヶ月余りで、今年も9月15日がやってまいりますね。御紹介をいただいた、今治伯方島トライアスロンが開催される日です。えひめ国体のときに、何とかしまなみ圏域においても事業をうっていききたいという愛媛県、そして今治市の想いというものを受けて、伯方島の皆さんがしっかりと取り組んでいただきました。今や日本を代表する、そんなイベントに成長してきているのかなというふうに思っています。出場されるアスリートの皆さんにも、いつも、伯方島最高というふうに思っただけのよう、大変暑い中ではありますけれども、ぜひ、中学生の皆さんにおかれましても、お世話をさせていただきますようお願い申し上げます。さて、中林悠議員、村上龍平議員御質問の「島嶼部における人口減少と高齢化への対策について」お答えをさせていただきます。

まず、「高齢者の移動手段の確保について」でございます。質問にもありましたように、日本の課題の大きなものの中のひとつとして、やはり人口減少というものがございまして、これは、今治市を含めて、地方都市だと言われている様々な地域においては共通する課題でございます。今治市島嶼部の人口は、合併後、約8,000人減少して急速に人口減少が進み、その約半分の方が65歳以上の高齢者で、人口減少と高齢化は本当に深刻な課題となっております。今後ますます高齢化が進むことが想定される中で、御自分で移動する交通手段がない方が増加することを強く懸念をしております。こうした方々の交通手段を確保するため、現在、大島の吉海地域、上浦・大三島地域におきましては、利用者が自ら行先・経路を予約し、定額で安心して利用できる「乗合タクシー」を導入しております。特に、上浦・大三島地域におきましては、スマートフォンで簡単に予約ができ、行先までの経路をAIが設定するシステムを活用し、皆さんの利便性の向上に努めておりますが、利用できるタクシーの運転手不足も社会的な問題となっており、今後、市民の皆さんの足の確保を継続して考えていくためには、もっと先進的な交通手段を検討する必要があります。その一つが、現在、国において進めている「地域版ライドシェア」という制度でございまして、自家用車でタクシーと同じように有償で人を運べるものです。地域の皆さんがお互いに支え

合うことで、効果的な運用が期待できます。これは、交通手段の確保、運転手不足といった課題を解決できる方策として、今治市も注目をしており、今後の制度導入に向け、前向きに取り組んでまいりたいと考えております。次に、人口減少対策の鍵となる「若者移住者への支援策について」お答えをさせていただきます。今治市では、市外に在住の若者世代、子育て世帯をメインターゲットとして、移住の検討から移住・定住に至るまで、切れ目のないサポート体制を整え、移住希望者がスムーズに移住できるよう支援をしています。あまりいいお話ではありませんけれども、都市部や関西圏から地方に移住をした場合、なかなか地域になじみにくいというふうなことで、孤立を極め、そしてまた別の地域に移り住むというふうなネガティブなお話も聞いてございます。本市ではそうしたことがないように、移住された方が不安なく生活をスタートし、そして地域に溶け込み定着できるよう、地域の方や郵便局の職員の皆さんに、地域とのパイプ役として定住支援をお願いさせていただいております。こうした取組を続けた結果、今治市への移住者数は、令和5年度には3,118人と、この3年間で倍増してございます。こうした取組や結果が評価をされ、先ほど答弁させていただきましたが、宝島社発刊の「田舎暮らしの本」の住みたい田舎ベストランキングの全4部門で2年連続全国1位に輝きました。ここで、今治市の移住定住プロモーションの動画を、ぜひ皆さんに見てもらいたいと思います。

(動画 視聴)

いかがだったですか。皆さんからしたら、とつてもありふれた光景のように映るかもしれません。長引くコロナ禍によって、働き方が随分と変わってまいりました。そして今治のストロングポイントは、何と言っても「今治時間」。ゆったりとした時を過ごすことが可能となる、こうしたものを若者向けに全国的に発信をさせていただきました。このPR動画は、何と、再生回数20万回を超えています。要は、若者世代の皆さんの心に刺さったというふうなことではないのかなと思っています。皆さんが、将来、進学や就職などで今治市を一旦離れたとしても、ふるさと「今治」に思いをはせ、戻りたいと思ってもらうことも大切です。現在、学校の授業で取り組んでいる「ふるさとキャリア教育」を通じて、今治に戻って働きたい、ずっと暮らしていきたいと思う郷土愛を育む必要があるというふうに思っています。皆さん、この先、人生のラッシュアワーと言われる、就職や転職、結婚や出産、あるいはお子さんの入園など、まだまだ皆さんはイメージできないかもしれませんが、様々なイベントが待っています。この様々な分岐点において、「今治に帰る」、「今治で生活をする」そういう選択肢があるというふうなことを絶えず心の中に持ち続けていただきたいと思います。今治市は、「住みたいまち」から「住んでよかったまち」、「住み続けたいまち」に加え、皆さんを含めた若者世代に向けたUターン施策を進めることで、「戻りたいまち今治」づくりにも積極的に取り組んでまいります。以上でございます。

○清重虎三郎中学生議会議長

伯方中学校中林悠議員。村上龍平議員。

○中林悠議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○清重虎三郎中学生議会議長

以上で、伯方中学校中林悠議員と、村上龍平議員の一般質問を終わります。次の議長に、大三島中学校

の岡野莉海議員を指名します。

○岡野莉海中学生議会議長

次に議長を務めます大三島中学校の岡野莉海です。よろしくお願いします。質問を続けます。21 番北郷中学校水谷彩愛議員。22 番高井碧議員。

○水谷彩愛議員

北郷中学校 3 年水谷彩愛です。

○高井碧議員

同じく 2 年高井碧です。

○水谷彩愛議員

私たちの学校は、挨拶に力を入れて取り組んでいます。挨拶当番を決めて、正門や玄関で、毎朝明るく元気な声で挨拶運動をしています。挨拶のおかげで、挨拶をされる側もする側も気持ちよく一日のスタートが切れていると感じています。私たちは、「合併 20 周年記念事業について」2 点質問します。

1 点目は、「記念ロゴ」に関する質問です。記念ロゴは、おむすびをモチーフにデザインされています。このロゴを初めて見たときは、どんな意味が込められているのだろうかと思いました。今治市のホームページを拝見すると、「地域むすび」や「縁むすび」、今治の 12 の市町村を一つにむすぶ、などの思いが込められていることが分かりました。とても素敵なロゴだと思っています。そこで質問です。今後、どのような事業をすることで、ロゴに込められた「むすぶ」という思いを実現していくお考えでしょうか。教えていただきたいと思います。

○高井碧議員

2 点目は、「こどもみらい会議」に関する質問です。今月 20 日に、今治市の小学生、中学生、高校生が一堂に会して、こどもみらい会議が開催されます。20 年後の今治市について意見を出し合う会だと伺っています。こどもみらい会議の目的の一つに、「新しい今治、新しい日本を拓く、たくましい子どもの育成」があります。私たちはまだ中学生で未来のことはよく分かりません。未来への期待もありますが、不安もあります。そのため、「新しい」「たくましい」という言葉のイメージを掴むことができません。そこで質問です。大人の皆さんが考える、「新しい」や「たくましい」とは、具体的にどのようなものなのでしょう。これからの道しるべとなるような答えをいただくと、大変ありがたいです。よろしくお願いします。以上 2 点について御回答をよろしくお願いいたします。



ます。

○岡野莉海中学生議会議長

答弁を求めます。

○徳永繁樹市長

「おはようございます！」って、驚くでしょう。私が毎朝来たら、職員の皆さんがこれぐらい大きな声で声掛けをしてくれるのです。もっとトーンを落としたらというお話をするのですけれども、その後輩は、野球をずっとして、入室するときは「失礼します」と言うんですね。やっぱり礼儀正しいというのは非常にいいことだと思いますけれども、場面に応じた節度も必要なのかと思います。北郷中学校の皆さん、毎朝の明るく元気な挨拶は、挨拶する人もされる人も必ず笑顔になり、今日一日がんばろうという気持ちにさせてくれます。これからも全校あげての挨拶運動を続けてもらいたいと願っています。部活動においても、すばらしい結果を出し続けていると伺いました。県総体におきまして、女子の1年生ですがね、1,500メートルで大会新記録で優勝をしたと伺っておりますし、昨日行われました四国大会、何と8名もの方が出場し、大活躍をされたというふうに伺っております。ぜひよろしくお伝えをいただきたい。そして自分の夢を、しっかりと自分の手で勝ち取る。そういうふうなことに向け、がんばっていただきますようお願いを申し上げます。さて、水谷彩愛議員、高井碧議員御質問の「合併20周年記念事業について」お答えをさせていただきます。

まず、「記念ロゴ」についてでありますけれども、今治市は皆さんが生まれる前の平成17年1月16日に、全国でも3番目に多い12の市町村が合併し、新しく誕生をしました。私は20年前からずっと思っていたんですけれども、12の地域が1つになって、「1×1×1×1…」ということで12を続けていても1ですよ。でも、1を上に向けて足していくことによって、その効果というのは非常に大きくなるのではないかとこのように思っていました。当時は平成でありましたから、平成の大家族「今治家」が誕生して、20年というふうなことであります。来年には、いよいよ合併20周年を迎えますけれども、ぜひ、このロゴマークを皆さんの中に落とし込んでもらいたいと思います。このロゴは、12の家族がひとつむすびになって、未来に向けて力強く踏み出していきたいとの思いを込めています。おむすびの具材に見立てた12の色は、地域のもつ特徴的な景観を色彩化し、地図上の配置をモチーフにしています。また、記念事業を盛り上げるため、皆さんもよく御存じの「バリエーション」を記念大使に任命させていただきました。ロゴに込めた「むすぶ」という思いをどのように実現していくか、そして、今後のまちづくりをどう進めていくのか。全て、市民の皆さんが主体的に進めていただく必要があるのかなと思っています。そのためには、まずは自分たちのまちをよく知ることが何より大切です。例えばお二人が住む波止浜、波方地域におきましては、海事都市今治を代表する波止浜港の造船群や、大角海浜公園から来島海峡大橋を望む景色など、まさに「今だけ」、「ここだけ」、「あなただけ」、そこにしかないすばらしい地域の宝があると思っています。これらの市民共有の財産をまちづくりに結びつけていく必要がございます。今、各地域で夏祭りが盛んに開催されておりますけれども、7月に上浦地域で開催されました「サマーフェスタ in かみうら」におきまして、初めて、大西地域の継ぎ獅子や宮窪地域の獅子舞が披露されました。歓声が大きかったなというふうに思っています。こうした地域を結ぶ仕掛けも行う必要もがございます。このような取組を通じて、12の大家族が1つになって、今を生きる私たちの使命として、後へ続く皆さんへ、魅力ある今治市をつないでいくために、自分たちができることをしっかりと実施をしていこうではありません。

せんか。

次に、「こどもみらい会議」についてでございます。こどもみらい会議は、20年後の今治市の主役となる小学生、中学生、高校生の皆さんに、未来の今治市が「夢や希望が持てるまち」となるためにどうすればよいかを考えていただくため、企画をさせていただきました。こどもみらい会議の目的の1つに掲げている言葉のイメージについてでありますけれども、「新しい」というのは、皆さんが自由に独創的に想像する全てのことです。



例えば、身近な瀬戸内の海や魚について学ぶことができる水族館があればいいよねというのも1つのアイデアではないでしょうか。サッカー好きの方であるならば、FC今治が20年後、アジアチャンピオンズリーグで絶えず優勝争いをし、日本代表選手を何人も輩出するようなクラブになり、今治市に大きな波及効果をもたらしていく。20年後の未来には、外国の方もたくさんいらっちゃって、そしてハンデの有無にかかわらず、誰でもが挑戦可能なフィールドとなって、今治を中心に経済が回っていく。こういうふうなこともひとつの夢ではないのかなと思っています。皆さんでしか思いつかないような、新しい今治のアイデアこそ、未来を拓くことに、私はつながっていくのではないのかなというふうに思います。また、「たくましい」とは、その斬新な発想を実現させるため、困難に立ち向かうことです。こどもみらい会議では、広い視点で物事を捉え、子供らしい自由に独創的な提案をしてください。また、困ったときには、お互いに助け合える「人と人のつながり」をつくるなど、参加者同士がお互いの理解を深めながら、多様性が必要だと言われる今の時代における、ぜひ新しい友達を見つける、そんな機会にもしてもらいたいというふうに思っています。皆さんを待ち受けている将来が、どういうふうな将来になるのか。私たちも予測はしておりますけれども、私たちもがんばらなくてはならないし、皆さんもまちづくりの主たるプレイヤーとして、この輪の中に入れてもらいたい。そのひとつがこどもみらい会議であるというふうに思っています。今回、初めての取組でございますが、こどもみらい会議から御提案いただく「未来の今治市」に私も、そして議会の皆さんも、大いに期待をしているところでございます。以上でございます。

○岡野莉海中学生議会議長

北郷中学校水谷彩愛議員。高井碧議員。

○高井碧議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○岡野莉海中学生議会議長

以上で、北郷中学校水谷彩愛議員と、高井碧議員の一般質問を終わります。次の議長に、大西中学校の藤田悠希議員を指名します。

○藤田悠希中学生議会議長

次に議長を務めます大西中学校の藤田悠希です。よろしくお願いします。質問を続けます。12番今治東中等教育学校白鞘怜奈議員。13番藤橋泰旬議員。

○白鞘怜奈議員

今治東中等教育学校3年白鞘怜奈です。

○藤橋泰旬議員

同じく、藤橋泰旬です。

現在、本校では、総合的な学習の時間に、桜井海岸の松林から大量に発生する廃棄松葉の用途創出に取り組んでいます。具体的には、学校で作った「松葉ペレット」を雑草抑制剤や肥料として有機農業に役立てられないか研究しています。そこで、農林水産業の支援として、2点の質問をします。1点目として、国際競争力を持つ有機農業の推進と「いまばりオーガニック」に向けて、現在取り組まれていることを教えてください。



○白鞘怜奈議員

次に、現在、本校の有志生徒で結成した「SFキーパーズ」という団体で、海と森の環境を守る活動を行っています。アイアイ今治出前講座から「今治市の森林について」を受講し、豊かな海を守るためには、森の管理・林業の復活が重要であるということ进行学习しました。そこで、2点目として、「森林環境整備事業」の中に担い手確保の取組がありますが、現在の今治市の実態はどのようなになっていますか。また、自伐型林業の推進に向けて、取り組まれていることを教えてください。以上2点について御回答よろしくお願いたします。

○藤田悠希中学生議会議長

答弁を求めます。

○徳永繁樹市長

今治東中等教育学校の皆さんにおかれましては、サッカー部、そしてハンドボール部、いつも強いんですけども、今年も愛媛県の中学総体で優勝したというふうに聞いております。そして、皆さんの学校というのは、市内の学校とはまた違う、様々な活動をしていただいている、大変敬意を表しております。それは、質問文章にもありましたけれども、「SFキーパーズ」という存在です。海と森の環境を守るということで、地域に入って、皆さんそのものが課題を見つけ、そして解決に向けて何ができるのかという行動を示し続けていただいております。今治市としても、こうしたものに対して表彰をさせていただきました。ぜひ、よき取組は、先



輩が井戸を掘ってくれた取組です。皆さんにつなげ、そして後輩にもつなげていただきますように、お願いを申し上げます。さて、白鞘怜奈議員、藤橋泰旬議員御質問の「農林水産業の支援について」お答えをさせていただきます。

まず、「有機農業の推進について」でございます。有機農業は、環境に優しく持続可能な生産・消費につながりますことから、農林水産省は、2050年までに国内の有機農業の取組面積の割合を25%まで拡大するという大きな目標を掲げ、有機農業に地域ぐるみで取り組むモデル的先進地区を「オーガニックビレッジ」として、創設を推進しております。そのような中、SDGsを推進する今治市におきまして、このオーガニックビレッジ宣言を昨年度、県内で初めて行いました。これをきっかけとしまして、これまで培った環境に配慮した有機農業の伝統を発展させ、有機農業就農サポート事業など、今治市ならではの、オンリーワンの有機農業振興策を展開中でございます。具体的な取組として、有機農業者の方々の栽培技術力の向上を目指し、専門家による巡回技術指導を行っています。また、来年2月頃に、有機農産物を使った料理の試食会など、今治市の有機農業や有機農産物を市民の方々に広く知っていただき、消費拡大につながるイベントの開催等を予定してございます。皆さんが研究されている松葉ペレットについても、昨年度から今治市の有機農業講習会の農園におきまして、ポリエチレン素材のマルチシートの代替品として、雑草を抑える効果等の実証事業を進めており、今年度、じゃがいも栽培で検証した結果、収穫量、雑草の抑制効果ともに優れた効果が認められました。引き続き違う作物においても実証を行い、この地域の未利用資源を活用したすばらしい取組からできたものが、今治東ブランドとなることを期待をしています。そして、将来的には、こうした地域資源を活用した今治市の有機農業が国際競争力を持つまでに育つことを願っています。

次に、「森林環境整備の担い手確保の取組と自伐型林業の推進について」でございます。画面にもありますように、今治市は、面積の半分以上が森林となっています。この広大で緑豊かな森林を適切に管理し、健全な姿で次世代につなげていくためには、森林整備を担う人材を育成、確保していくことが極めて重要でございます。今年度から徴収が開始をされました森林環境譲与税は、森林整備や担い手の確保、木材利用の促進等に充てられており、今治市では担い手確保の取組として、市内の林業に携わる事業所に対して、担い手を育成するための研修や機械のリースに係る経費のほか、従業員の雇用に必要となる経費等への支援を行っています。自伐型林業の推進に向けましては、移住した方が様々な地域協力活動を行う「地域おこし協力隊制度」を活用し、自伐型林業に取り組む人材をこの4月から2名雇用させていただき、必要な資格や技術の習得を行っており、さらに来年度に向けまして、2名の追加募集を開始したところでございます。加えて、本年6月1日には、先ほど答弁をさせていただきましたが、今治市は「ウッドスタート宣言」を行いました。これは、木材のよさを認識する心、そして、森林、自然を大切にする心を育み、豊かな子育て環境を整えるとともに、地域産材木製品の消費を増やし、森を育て守る循環型社会を構築するために目的としたものでございます。「(仮称)しまなみ木のおもちゃ美術館」のオープンも控える中で、今後、こうした取組が発展し、林業の担い手づくりにつながっていくことを大いに期待しております。以上でございます。

○藤田悠希中学生議会議員

今治東中等教育学校白鞘怜奈議員。藤橋泰旬議員。

○白鞘怜奈議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○藤田悠希中学生議会議長

以上で、今治東中等教育学校白鞘怜奈議員と、藤橋泰旬議員の一般質問を終わります。それでは次の議長に、朝倉中学校の渡邊葵月議員を指名します。

○渡邊葵月中学生議会議長

次に議長を務めます朝倉中学校の渡邊葵月です。よろしくお願いします。質問を続けます。23番日吉中学校藤倉巨輝議員。24番長本和真議員。



○長本和真議員

日吉中学校3年長本和真です。

○藤倉巨輝議員

同じく藤倉巨輝です。

私たちの学校は、全校生徒数429名で、校訓である「実行」の下、日々の勉強や部活動に一生懸命励んでいます。

○長本和真議員

日吉中学校は、ボランティア活動に力を入れています。朝の清掃活動、1円玉募金、アルミ缶回収に加え、地域行事への参加も行っています。私たち中学生も地域で果たす役割について考えながら、生徒会が中心となり、これらの活動に積極的に取り組み、学校や地域のために奉仕することを通して、生徒一人一人が心身共にたくましく、心豊かになるように努めています。そこで、私たちは公園の使い方や歩道の整備状況などの、誰もが暮らしやすいまちづくりについて、2点質問します。1点目は「利用しやすい公園の在り方について」です。私はよく公園を利用するのですが、近所にある公園のほとんどがボールの使用を許可されておらず、ボールの使用をするには遠い場所まで移動しなければなりません。私は同じ思いを抱えている中学生がいないのか疑問に思い、市の公園緑地課のアンケート調査を拝見しました。私と同じ思いを持った中学生が211人もいました。様々な意見もある中で、誰にとっても利用しやすい公園の在り方について教えていただきたいと思います。

○藤倉巨輝議員

2点目は「生活道路の整備について」です。先日、デイサービスの高齢者と合同避難訓練を行いました。高齢者を乗せた車椅子を押していると道路の凹凸が激しく、高齢者にとっては歩きづらく、危険すら感じました。幹線道路の改修はよく目にしますが、地域住民が利用する生活道路の整備が行き届いていないような気がします。今後の生活道路の整備について教えていただけないでしょうか。以上2点につい

て御回答よろしくお願いたします。

○渡邊葵月中学生議会議長

答弁を求めます。

○徳永繁樹市長

日吉中学校の皆さん。皆さんは、朝の清掃活動や募金活動など、ボランティア活動に注力をお願いしているというふうなお話を先ほど伺いました。冒頭の御挨拶でも申し上げましたけれども、



一昨日、昨日のおんまく、実は一年間、皆さんの先輩である方々が、皆さんをもてなすために、この熱中症が危惧される中で、どうしたら暑さ対策ができるのか、本当に時間をかけてしつらえをしていただいております。せとうちみなとマルシェもそうですし、FC今治のホーム戦もそうですけれども、ほぼ運営はボランティアなんですね。ぜひ皆さん、様々なことに関心があるのかもしれませんが、このボランティアの活動にこれからも力を注いでもらいたい。そしてそこには、人と人との交流があるというふうなことをしっかりと受け止めてやってもらいたいと思っています。さて、長本和真議員、藤倉亘輝議員御質問の「公園の使い方や歩道の整備状況について」お答えをさせていただきます。

まず、「利用しやすい公園の在り方について」でございます。今治市では、今後の公園づくりに生かすため、様々な世代の皆さんにアンケート調査を実施させていただきました。こうした市民の皆さんの声を基に、今治版ネウボラ計画を補完する形で、「遊び場サテライト」の整備に取り組んでいるところです。画面に今、映しましたように、整備にあたりましては、市内を4つのエリアに分けてございます。それぞれの地域特性に合わせた魅力ある公園としていくために、全体計画となる「公園等リノベーションイメージマップ」を作成をしました。この計画に沿って、今治交通公園には「おもしろ自転車」を設置、しまなみアースランドでは「水遊びができる場」の整備などを行っています。公園でのボール遊びについてでございますが、市内のほとんどの公園では、柔らかいボールやフリスビーなどの遊びを楽しんでいただけます。ただし、公園は幼いお子さんを含め、様々な方々が利用しています。今治市では、公園内の安全性を確保する観点から、硬いボールでの遊びにつきましては、グラウンドなどがある公園を御案内をさせていただきます。それぞれの中学校の近くでは、公園検索アプリ「PARKFUL」を使うことで、どのような公園で、どのような遊びができるか、今、どのような花が咲いているのか、こうした確認もできるようなソフトになっております。ぜひ、家族や友人と一緒に出かけたいと思うときには、この公園検索アプリ「PARKFUL」を御利用くださいますように、お願いを申し上げます。

次に、「生活道路の整備について」であります。生活道路の凹凸につきましては、大きく「舗装の劣化によるもの」と「道路の構造によるもの」の2つがあります。「舗装の劣化によるもの」、具体的には舗装のひび割れなどにつきましては、長本君のお父さんを含め、市の職員による見回りや、市民の皆様からの連絡を受け、舗装状況を確認しながら、随時、対策を行っています。なお、スマートフォンやパソコンで簡単に道路の異常箇所を通報できる「道路等異常通報システム」を運用してございますので、道路の異常を見つけた際には、今治市ホームページまたは公式LINEアカウントからアクセスしていただき、市役所まで、ぜひ、通報をいただけたらなと思っています。次に、「道路の構造によるもの」、具体的には、



車道より歩道が一段高い構造の道路につきま
しては、交差点や家屋の出入口に段差があるた
め、お年を召された先輩方や車椅子の方々にと
って、通行に支障となります。現在、このよう
な構造の道路につきましては、バリアフリーの
考えに基づいて、車道と歩道の段差を緩和した
道路への改良を順次進めております。人口が減
少していく中、日吉中学校校区でもある中心市街
地、特に駅から港までのエリアを対象に、お子

さんからお年を召された方々まで、誰もが歩いて楽しめるまちにしていかなければならないと考えて
おります。20年、30年先に豊かさを実感できる。そんな今治市を皆さんとともに夢見ながら、誰もが暮
らしやすい、魅力的なまちづくりに取り組んでいきたいと考えております。近い将来に主役となる皆さん
が、中学校で培い、そしてこれから蓄えていく若い力をふるさとのために発揮され、私たちとともに今
治の未来を創造していただけることを、楽しみにしております。以上でございます。

○渡邊葵月中学生議会議長

日吉中学校藤倉亘輝議員。長本和真議員。

○長本和真議員

ありがとうございました。これで質問を終わ
ります。



○渡邊葵月中学生議会議長

以上で、日吉中学校藤倉亘輝議員と、長本和真議員の一般質問を終わります。

これで、全ての一般質問が終了しました。徳永市長から、今日の今治市中学生議会の講評をいただき
たいと思います。徳永市長よろしくお願ひします。

○徳永繁樹市長

閉会にあたりまして、御挨拶を申し上げます。もう2時間以上が過ぎましたけれども、皆さん、いかが
だったですか。皆さんが非常に鋭い御質問をさせていただいて、私たちも準備をし、そしてアドリブも含め
て、皆さんに心から、正面からお答えをさせていただきました。不適切な表現がありましたら、お許しを
いただきたいというふうに思っています。人口がどんどんどんどん減っていく中で、皆さんの世代にど
うつなげていくのか、今を生きる大人たち、私たちに課せられた大きな課題ではないのかなというふう
に思っています。でも、私たちばかりが考えるのでは、一方通行になるかもしれません。皆さんが今治の
将来をどう描き、どんなまちにしたいのか。そして、どんなまちにしたいのかというふうな輪の
中に、ぜひ、中学生議会に来ていただいた皆さんにはお入りをいただきたい。平穏な社会というのは、誰
かがつくってくれるものではありません。私たちや皆さんがつくっていくものです。私は市長になった
から、皆さんに言うわけではありませんけれども、この今治というまちは、素晴らしいまちではないのか

なと思います。「住みたい田舎ベストランキング2年連続4冠達成」、「子育て支援日本一」、様々な称号もいただきましたけれども、それは理由があって、そういう称号をいただいたわけであります。働く場所がある、でも皆さんにとっては、それが働きやすい場所になってない、魅力的に映ってない。だったらどうブレイクダウンをして、皆さんにお伝えをしなくちゃならないのかというふうなことについても、絶えず考えていく必要があるのかなというふうに思います。今日の御質問にもありましたけれども、様々な変容があった、これまで2年、3年でありました。もう昔の日常に戻ることはありません。皆さんがこれから育っていく先、ひょっとしたら20年後、30年後、私が中学生や高校生のように歩んできたような道を歩めば、皆さんには不適切な形になるかもしれません。生成AIがこれだけ発展をしてきた、これから残っていく職業は何なのか。私は思うんです。心の豊さが求められている時代だからこそ、皆さんにそうした心を情操できるような環境を与えてあげたい。そして皆さんが、私たちからバトンを預かって、このまちをしっかりとつないでもらいたいというふうに私は思っています。夏休み、大変忙しい中で、今日はお越しをいただきましてありがとうございます。今日の感想、また聞かせてください。そして今日皆さんが感じた気づきであったり、学びであったりというふうなことを、皆さんのお友達にも、そして学校の先生方にもお伝えをいただいたら非常にありがたいなというふうに思います。これからも今治市は皆さんとともにあり続けていきます。皆さんが中心のまちづくりに向け、ぜひ、皆さんと手を携えてがんばっていききたいなというふうに思っておりますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。結びになりますが、まだまだ酷暑が続いておりますので、お家にいたとしても、エアコンの適切な使用、そして一方では、新型コロナウイルスや夏風邪も随分とはやっているという話もありますので、感染対策には御留意をいただきますようお願いを申し上げて、すばらしい夏休みをお過ごしいただくことを念願し、私からの閉会の御挨拶とさせていただきます。終わります。

○渡邊葵月中学生議会議長

徳永市長、ありがとうございます。以上で、本日の日程は全て終了しましたので、今治市中学生議会議会を閉会します。

